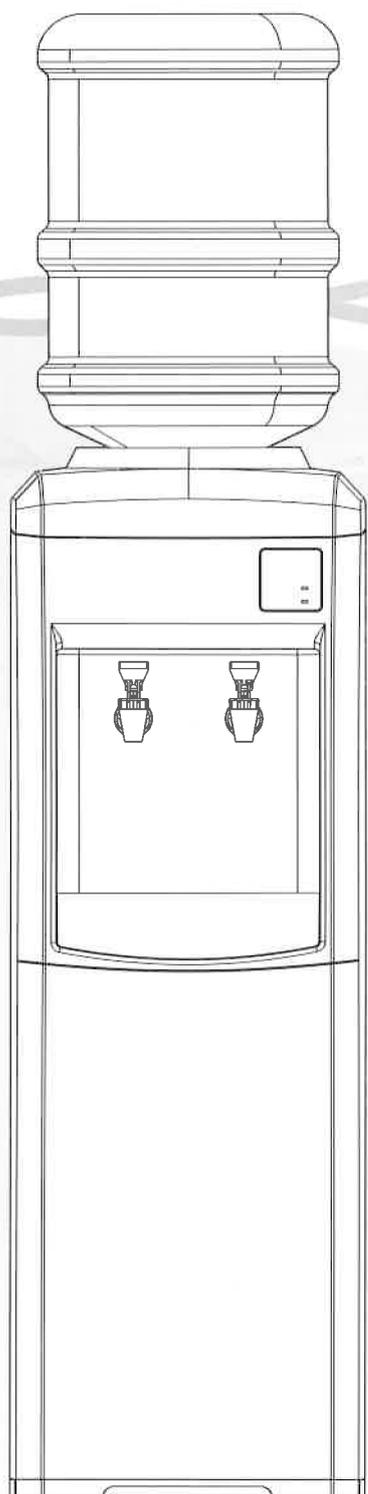


# ovio<sup>®</sup>

## ウォーターディスペンサー

### 取扱い説明書 (床置型) FHC-6000 FCC-6000



- 安全上の注意事項…………… 1
- 各部の名称と仕様…………… 2
- 設置方法…………… 3
- ご使用にあたり…………… 4
- お手入れ方法…………… 5
- 故障かな?と思ったときは…… 6
- 修理とアフターサービス…最終ページ

# 1.安全上の注意事項

設置、ご使用になる前に、この注意事項をよくお読みになり、正しく使用してください。ここでは誤った取扱いをした時に起こりうる死亡や重症の重大事故につながる可能性がある内容を示しています。これらの警告・注意事項は安全上重要な内容ですので必ずお守りください。

 **警告** 誤った取扱いをした時に死亡や重症につながる可能性が大きいもの

 **注意** 誤った取扱いをした時に人が障害を負う可能性が大きいもの

## ■ 設置上の注意事項

### 警告

-  床置き型の場合、床が水平で丈夫な所に設置してください。転倒、落下による事故やけが、感電、火災、やけどの恐れがあります。
-  電源は交流単相100Vで定格15A以上の専用コンセントを使用してください。延長コードの使用やタコ足配線は火災の恐れがあります。
-  電源コードを傷つけたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり加工、加熱したりしないで下さい。火災、感電の恐れがあります。
-  アース線は安全の為、必ず最初に接続してください。アース線が接続されておらず、万一漏電した場合、火災、感電の恐れがあります。

### 注意

-  屋外や湿気の多い場所、換気の悪い場所、周囲温度が氷点下になる所、直射日光が当たる場所や発熱物のそばには設置しないでください。ディスペンサーの寿命を短くし、安全を損なう恐れがあります。
-  電源プラグにはほこりが付着していないか確認し、コンセントにプラグの根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電、火災の恐れがあります。
-  可燃性ガスの漏れる恐れがある場所や、シンナー等の揮発性の高い溶剤等を近くで使用しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
-  設置後、ディスペンサーの内部やドレインコックからの水漏れがないか確認して下さい。わずかな水漏れがある場合でも使用を中止、販売店にご連絡下さい。

## ■ 使用上の注意事項

### 警告

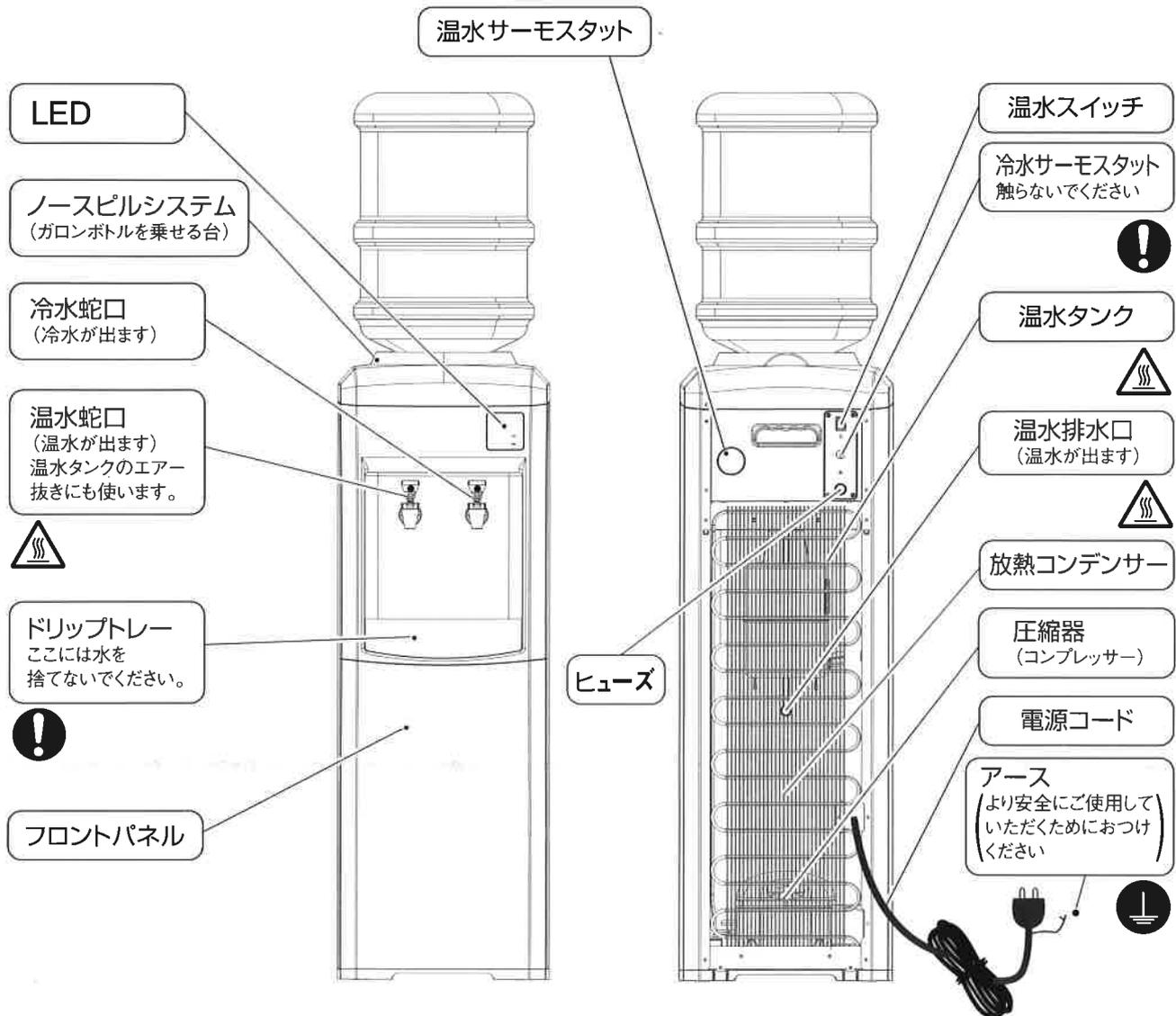
-  電源プラグに濡れた手で触れると感電する事があります。また、電源コードを持ってプラグを引き抜かないでください。感電したり断線やショートによる火災の恐れがあります。
-  背面の放熱部から棒や指を入れないでください。高温の温水タンクでやけどしたり、感電の恐れがあります。
-  修理技術者以外は絶対に分解したり修理を行わないで下さい。不備があると感電や漏水の恐れがあります。不当な改造や修理による故障、事故については保障しかねます。
-  焦げ臭い等の異常がある場合は、すぐ運転を停止し、電気プラグを抜いてお買い上げの販売店、又は代理店へご連絡ください。異常のまま運転を続けていると故障や感電、火災の恐れがあります。
-  冷水タンクの内部やノースピルシステムの内側に触れるときは、除菌した手袋等をご使用下さい。汚れた手で触れると雑菌が繁殖することがあります。

### 注意

-  このディスペンサーは3ガロンまたは、5ガロンボトル等の規格サイズ専用ですのでそれ以外には使用しないで下さい。トラブルの原因となります。
-  電源プラグは抜いたままにしないでください。抜いたまま放置しますと水質が変化し不快な臭い、味の原因となります。
-  長期間(2週間以上)使用しない場合はボトルを外してディスペンサー内の水を抜き、電源プラグもコンセントから抜いてください。水質変化と絶縁体劣化による感電や漏電の原因となります。
-  温水を出すときは、手にかけたりしてやけどをしないよう十分注意してください。安全のため、子供だけで使用させないでください。
-  ディスペンサー背面のコンデンサーや電気回路部、また電源コンセントなどの埃を定期的に取り除いて下さい。

## 2.各部の名称と仕様

### ■ 各部の名称



### ■ 仕様

名 称		温水・冷水ウォーターディスペンサー	冷水・常温ウォーターディスペンサー
型 式		床置型 FHC-6000	床置型 FCC-6000
サイズ (mm)		320(W)×320(D)×945(H)	320(W)×320(D)×945(H)
重 量		18kg	17.5kg
電 源		単相 100V 50/60Hz	単相 100V 50/60Hz
消費電力		加熱 400W 冷却100W	冷却100W
冷 水	連続抽出能力	1.4ℓ	1.4ℓ
	温 度	5℃～12℃	5℃～12℃
	タンク容量	約3.4ℓ (ステンレスタンク)	約3.4ℓ (ステンレスタンク)
温 水	連続抽出能力	1.4ℓ	—
	温 度	室温～90℃ 調節可能	—
	タンク容量	約1.92ℓ (ステンレスタンク)	—

※ 仕様は製品改良にともない予告なく変更することがあります。

製造元：OVIO CORPORATION

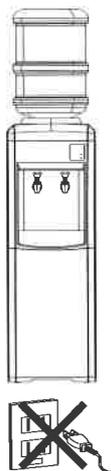
# 3.設置方法

## 1 ディスペンサーを設置します

ディスペンサーを箱より出してください。中袋をはずしコンセントのある場所にセットしてください。

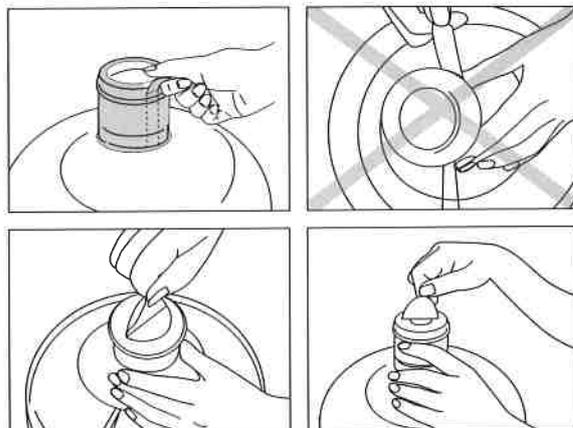
### ⚠ 注意

- まだコンセントにはつなげないでください。
- 平らで安定した場所に壁などから15cm以上離して設置してください。
- 設置後の本体の移動は電源を切ってから一時間以上経過後に行ってください。また、移動時は本体を45度以上傾けないでください。
- アースは万一の感電事故を防ぐために必ず最初に接続してください。
- 温水排水口がきちっと閉まっているか念のため確認してください。
- 屋外や直射日光の当たる場所には絶対に設置しないでください。



## 2 ボトルの準備

ボトルのシュリンクカバー(キャップの周りのビニールカバー)をはずし上部のキャップシールを剥がしてください。  
※ ボトルに付いているプラスチックキャップは絶対に取らないでください。



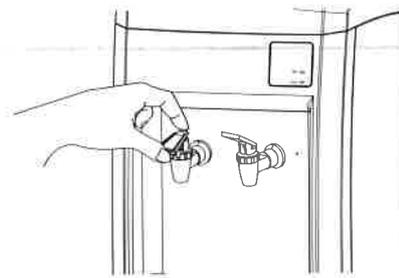
## 3 ノースピルシステムにセットします

ノースピルシステムの中央部のパイプへボトルを逆さまにして手早くしっかり差し込みます。タンク内に水が入ると、同時にタンク内の空気がボトル内に上昇します。冷水タンク内が満水になると空気の上昇もなくなります。



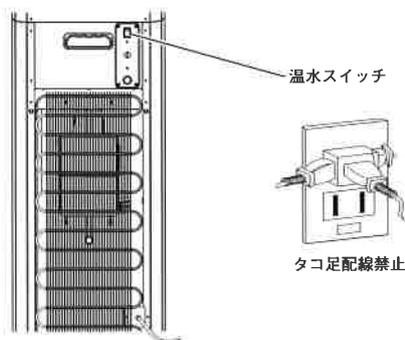
## 4 温水タンク内のエア抜き(空気抜き)をします

ボトルをセットしたら、すぐ下図のように温水蛇口(ロック解除しながら)を下に押し続け、温水タンク内のエアを抜きを行ってください。約3分程で温水蛇口より、水が出ます。水が出ましたらエア抜きは完了です。



## 5 電源プラグをコンセントに差込み、温水スイッチを入れます。

電源プラグをコンセントに差込み、背面にある温水スイッチをONにします。その後、温水サーモスタットダイヤルを回して温度を設定して下さい。冷水スイッチはありませんが、この時点で自動的に冷却も開始されます。



⚠ 注意 コンセントのタコ足配線は発熱し、火災の恐れがありますので単独で使用してください。

※ 温水を使用しない場合でも、温水スイッチはONにしておいてください。

**設置終了後、30分~40分で温水及び冷水が使用可能になります。**

※ 温水タンクの空気を防ぐために3ガロン、または5ガロンボトル等の水が空になったら自動的に温水が止まる仕組みになっております。その場合は、できるだけ早く3ガロンまたは、5ガロンボトルを交換してください。長期間交換しないと不快な臭い、味の原因となります

## 6 設置後の確認

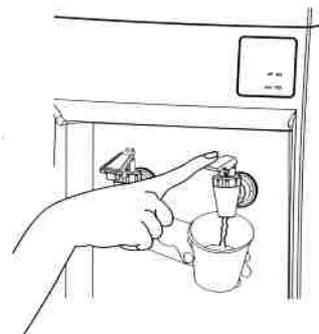
ボトル付近、コック付近、タンク部及びディスペンサー裏面より水漏れがないかチェックしてください。万一水漏れがあった場合は「6.故障かな?と思ったときは」をご確認の上、お買い上げの販売店、または代理店に連絡してください。

- 本体に適合した3ガロン、または5ガロンボトル等をご使用ください。
- 水道水などに詰め替えてご使用になると配管や蛇口が詰まるなど故障や臭いの原因となりますのでおやめください。
- 温水を出す時は手にかけたりしてやけどをしないよう十分注意してください。安全のため、温水蛇口にチャイルドロック式レバーを採用している仕様の製品の場合でもお子様だけの使用は、させないでください。

## 4.ご使用にあたり

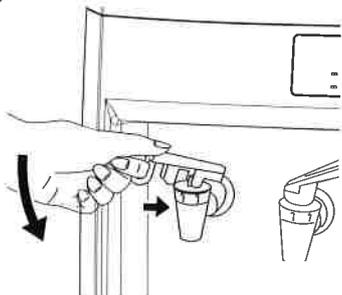
### 冷水蛇口(青いレバー)、温水蛇口(赤いレバー)

青いレバーを押すと冷水、赤いレバーを押すと温水が出ます。水が跳ねることがありますので、コップは必ず蛇口の真下に置いてください。温水は特に注意して、蛇口の近くまでコップを持って行ってから操作してください。ボトルが空になってもタンクに水があれば冷水は出ますが、温水はボトル内の水の圧力でお湯をだしますので水がなくなればお湯はでなくなります。(温水タンク内の空炊き防止装置作用のため)



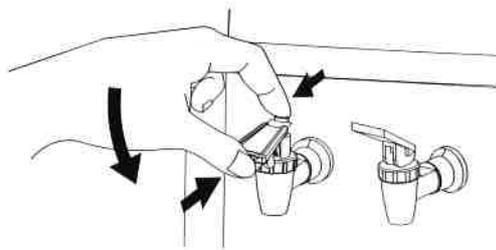
### チャイルドロック式レバーのご使用方法

タイプ1



人指しゆびでレバー下部を押し込みながらレバー全体を下げると温水が出ます。

タイプ2



人指しゆびと親ゆびでレバーを挟み込みながらレバー全体を下げると温水が出ます。



**注意**

温水を出す時は、手にかけてりしてやけどをしないよう十分注意してください。安全のため、お子様だけでのご使用は、させないでください。

### ■ 冷水、温水の温度について

#### ・冷水温度(設定温度:5℃~12℃)

冷水温度は冷水サーモスタットの調整により設定変更できますが適温に設定してありますので再調整する必要はありません。通常は手を触れないでください。

#### ・温水温度(室温~90℃調節可能)

温水温度は温水サーモスタットの調整により設定変更できます。

### ■ 長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてタンクの水抜きを行ってください。電源プラグを抜いた状態で長期間放置しますとタンク内の水質の変化や劣化が生じます。ボトルをディスペンサーから外し、冷水タンクと温水タンク内の水を必ず抜いてください。水抜きについては、「5.お手入れ方法」をご参照ください。

### ■ ボトルの交換方法

ボトルを外す時は、必ず真上に引き上げてください。止水用のキャップが、ボトルを引き抜くことにより自動的に閉まりますのでボトル内に水が残っていても水は漏れません。

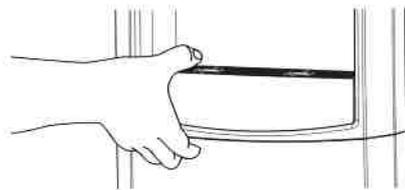
**注意**

- ・ゆっくりボトルを引き抜くとキャップが閉まらないことがあります。ボトル内に水が残っている場合は、漏れ出す事がありますのでご注意ください。
- ・新しいボトルに交換した時に止水用のキャップがまれに抜けボトル内に浮かぶ可能性があります。使用には差し支えありませんが、この場合ボトルに水が残っている状態でボトルを抜くと水が漏れますので絶対にボトルを抜かないでください。
- ・構造上わずかですが水がボトル内に残りますので、ご了承ください。

## 5.お手入れ方法

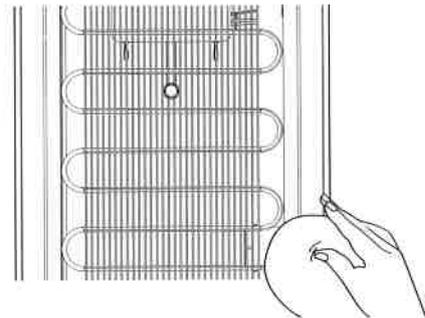
### ■ 外装/ドリフトレーのお手入れ

外装：やわらかい布に中性洗剤を含ませふいてください。  
汚れが落ちたら水拭きし、その後再度乾拭きしてください。  
ドリフトレー：はずして中性洗剤で洗ってください。



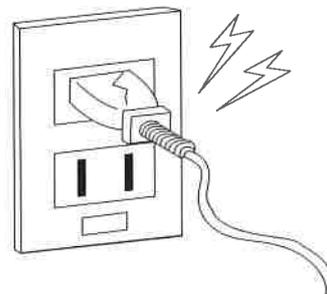
### ■ 放熱部のお手入れ

ディスペンサーの背面は放熱部となっております。壁に密着させたりホコリが付着すると放熱しにくくなり冷却効果が低下します。  
やわらかいブラシ、掃除機等で定期的に掃除してください。



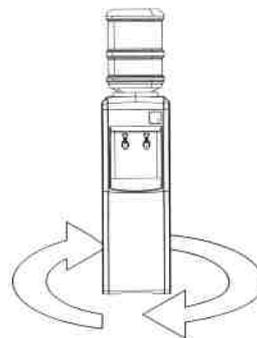
### ■ 電気コード/プラグの点検

電源コードやプラグに亀裂がないか、またコードが発熱していたり重いものの下敷きになっていないか点検してください。  
これらは、感電事故や火災の原因になりますので、普段の使用時からこまめに点検してください。



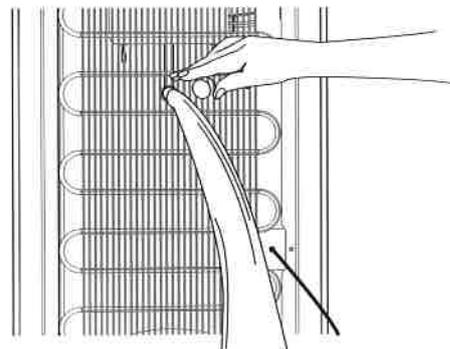
### ■ 水漏れの点検

ボトルがノースピルシステムに十分に差し込まれていない場合やドレインコックの締りが不完全ですと水漏れを起こします。  
定期的にディスペンサーの位置をずらし背面や底部に水が漏れていないか点検してください。



### ■ タンクの水抜き

水抜きをする場合、冷水は冷水蛇口から抜いてください。  
温水は裏側にある温水排水口にあるキャップを外して抜いてください。



**注意**

温水を抜く場合、必ず電源を抜いてから1時間以上経過後に(温水が冷めてから)抜いてください。熱湯が出てやけどの原因になります。

## 6.故障かな?と思ったときは

ディスペンサーの調子が悪くなった時は、修理の依頼前に次のことをご確認ください。

こんなとき	調べるところ	処置のしかた
水が出ないとき (冷水・温水)	ボトルが空になっていませんか	空炊き防止も含めて、新しいボトルのものに交換してください
	温水タンクのエアー抜きが不完全になっていませんか	温水蛇口から水が出るまでレバーを押してください
冷水が出ないとき	電源プラグが抜けていませんか	電源プラグを点検してください
	停電またはブレーカーが切れていませんか	ご自宅・オフィス等の電気の配電盤を点検してください
	冷水の出し過ぎ又は冷却時間が短かすぎませんか	一度に大量に出さないようにするか時間を置いて使用してください
	設置場所の温度が高くありませんか	直接日光の当たらない風通しの良い場所に設置してください
	背面の放熱部にホコリが詰まっていますか	背面放熱部を清掃してください
	ディスペンサーの背面が壁に近く設置されていませんか	背面を壁より15cm以上離して、背面放熱部からの熱が逃げるように設置直してください
温水が出ないとき	電源プラグが抜けていませんか	電源プラグを点検してください
	停電またはブレーカーが切れていませんか	ご自宅・オフィス等の電気の配電盤を点検してください
	温水スイッチが入っていませんか	背面の温水スイッチをONに入れてください
	温水の出し過ぎ又は加熱時間が短かすぎませんか	一度に大量に出さないようにするか時間を置いて使用してください
水が漏れている (ディスペンサー)	冷水蛇口または温水蛇口から水が漏れていませんか	蛇口が緩んでいる場合がありますので右に廻して締めてください
	温水排水口から水が漏れていませんか	温水排水口のキャップをしっかりと閉めてください
	タンクに水滴がついていませんか	その場合は涼しい場所にディスペンサーを設置してください
水が漏れている (ボトル付近)	タンクから水が漏れていませんか	ボトルを抜き、水を排出してください (販売・代理店にご連絡ください)
	ボトルがノースピルシステムに不完全に差し込まれていませんか	ボトルをきっちり最後まで差し込んでください
	ボトルが割れていませんか	ボトルを新しいものに交換してください
騒音(ノイズ) がする	機械本体が傾いていませんか	機械本体を水平に保ってください
	壁や他の製品にふれていませんか	機械本体を壁や他の製品から離してください